

「次世代の九州がんプロ養成プラン」外部評価委員用 評価シート

送付した評価用資料および九州がんプロホームページ（<http://www.k-ganpro.com/>）等をご覧になった上で、以下の評価シートにご記入ください。このシートの内容は、評価委員の氏名を明らかにした形で、評価用資料とともにホームページ等にて公表する予定であることを予めご了承ください。

外部評価委員 氏名	眞島 喜幸
-----------	-------

1. 今年度における九州がんプロの取り組み評価

下記3つの欄に、a（優れている）～e（劣っている）の選択肢を記入いただき、つづけて「コメント欄」に評価の具体的な内容をご記入ください。

[選択肢] a:優れている / b:やや優れている / c:普通 / d:やや劣っている e:劣っている	
総合評価	a
テーマ1：がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材養成	a
テーマ2：がん予防の推進を行う人材養成	b
テーマ3：新たな治療法を開発できる人材の養成	b

コメント欄（上記評価の理由、評価できる点、今後に向けて改善すべき点など）
<p>評価できる点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰ひとり取り残さないがん対策」を推進する教育コースを新たに開設する点、特に遠隔地医療に特化した教育プログラムの立ち上げとプレジジョン医療、就労支援の組み合わせには期待したい。 ・アウトプット：計画された教育プログラムは全36コースあり、インテンシブ11コースである。 ・アウトカム：履修者数・修了者数900人を予定している点は評価できる。また、専門医等資格取得数、がんゲノム検査数(Germline Testを含む)、遺伝カウンセリング数、病理専門医・放射線治療専門医の在籍数、がんプロ学生が筆頭著者である英論文数などを設定している点は評価できる。アウトカム指標が右肩上りになることに期待したい。 ・テーマ①；医療現場で顕在化した課題に対応する人材養成に関しては、不足している病理診断医、細胞検査士、放射線治療医、医用物理士、薬剤師、看護師など多職種の養成コースを36新たに設けるとしては評価できる。特にプレジジョン医療はチーム医療が重要なことから多職種を対象とした教育プログラム新設の成果に期待したい。また、全職員が患者の抱える様々な苦痛を把握し、患者本位のがん治療、支持療法、緩和ケアが提供できるよう、インテンシブコースを開発し、全職員を対象としてオンデマンド配信する点は期待できる。

・テーマ②：第4期がん対策推進基本計画に記載された「がん予防の推進を行う人材育成」に関するコース開発に取り組むと報告したのは九州大学、大分大学、長崎大学、鹿児島大学、琉球大学の5施設である。今後、遺伝性腫瘍、二次がんを含むがん予防・サーベイランス・遺伝カウンセリングを担う人材養成のコースを長崎大学と鹿児島大学が作成し、主に小児がんを対象としたがん予防とゲノム医療を担う人材を養成するコースを小児がん拠点病院である九州大学が作成するとした点も含め、各大学の取組に期待したい。

・テーマ③：自ら新規治療開発に寄与する人材育成のコース開発について取り組むとしているのは、九州大学、産業医科大学、大分大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、鹿児島大学、琉球大学の8施設であった。個別化医療を推進するために、特にがん免疫療法を体系的に習得できる講義、演習を入れたコースも開発するとしている点は評価できる。また、鹿児島大学では工学部、経済学部と協力し、人工知能や医療経済など多角的ながん医療に対応できる人材の養成を計画している点は期待したい。また、新規治療法開発やがん予防等の研究を推進する人材育成には、参加施設間のみならず国外の医療・研究教育機関と共同で取組み、我が国におけるがん専門医療人の養成に寄与するとした点は評価できる。

・がんプロ養成講座の国民的な理解を進めるための取組み（PPI）については、がんプロ養成講座を周知するためのホームページをすでに立ち上げており、また市民公開講座も積極的に開催している点は評価できる。

今後に向けて改善すべき点：

・自己評価で、「a.十分に目標を達成できている、b.目標を達成できている」とした大学は3校に留まった。残りの8校は「c.あと少しで目標を達成できる、d.目標を達成できていない」と自己評価したことから今後、準備段階から実施段階へのスムーズな移行と目標人数の登録に期待したい。

・代表校である九州大学では、複数の正規課程コースを立ち上げているが、他の連携大学は比較的少ない。グループとして協働することで教育体制の強化し成果をあげていくことに期待したい。

・全国の離島、僻地の半数を占める九州地域において、第4期がん対策推進基本計画に盛り込まれた「誰ひとり取り残さないがん対策」を進める教育プログラムを新設する点は評価できるので、がんプロ教育事業の成果として、九州地域内のがん医療が改善されたかを図ること（高齢がん患者医療の実態把握）もPDCAの観点からは重要である。アウトカムとして正しい診断までに費やされた月数、がん治療施設までの移動時間（Time Toxicity）等を調べることを検討していただきたい。特に高齢者とその家族にとりがん医療に関する移動時間は費用面だけでなく、身体的かつ心理的負担でもあるため、その削減につながるようながんプロ事業の成果にも期待したい。

・第4期がん対策推進基本計画では、がん医療の効率的な提供やアクセス向上のために「デジタル化の推進」が推奨されている。遠隔地域に住む希少がんを含むがん患者のために九州大学のような専門施設（希少がんセンター・小児がん拠点病院）とのICTを活用したオンラインコンサルテーション、遠隔医療・支援体制の充実（Hub&Spoke Model）、さらに国内未承認の希少がん・難治がん薬剤アクセス改善に向けた分散型治験（DCT）体制構築等にも積極的に取り組んでいただきたい。

・市民公開講座は、都合がつかずに会場参加できない方、また離島、僻地の患者、家族のためにも録画し、YouTubeなどで視聴できるようにすることが望まれる。Web市民公開講座の周知、がんプロHPからのアクセスなどにも配慮していただきたい。

・病院の働き方改革が進む中、事業運営の効率化もがんプロ事業継続に関する課題のひとつとなっている。様々なタスクにAIツール、Digital Technologyの利用が進んできていることから、教育プログラムやインテンシブコースの開発などで活用し費用対効果の改善に繋げることに期待したい。

2. 各大学の取り組みに対する評価

今後の改善の参考とするため、各大学へ個別にコメントをご記入ください。

コメント欄（評価できる点、今後に向けて改善すべき点など）	
九州大学	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ①の4コース、テーマ②の1コース、テーマ③の2コースで受入目標を65名に設定した点は期待できる。 ・テーマ②に関しては、小児がん拠点病院の強みを活かし、遺伝性要因の強い患者が多く集まる当施設において未発症者を対象としたがん予防の専門家を育成することは評価できる。
福岡大学	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ①のがんサバイバーの苦痛に対応できるがん専門の医療人を育成するコースの受入目標 5名の活躍に期待したい。また、多職種向けインテンシブコースでは受入目標を170名に設定し、多様ながんセミナーを受講してもらい、8割以上の科目で合格することが求められている点は期待できる。
久留米大学	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線治療専門医の育成を目指し、受入目標を毎年度3名とする点は期待できる。その他、毎年がん看護専門看護師を2名、オンコロジーナース2名、地域医療をつなぐ力のある看護師2名の養成を進める教育プログラムに期待したい。 ・先端癌治療研究センターにおいて革新的な治療法開発に取り組まれており、テーマ③に関連した協働、市民向け情報発信に期待したい。
産業医科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・前はオブザーバー参加のため、今回が初のがんプロ学生の受入れとなる。 ・テーマ①では2つ正規課程コース（がん治療と就労の両立支援医師養成コースとがんゲノム医療重点コース）を通して10名の受入目標を掲げており、インテンシブコースでも同じく10名の目標を掲げている点に期待したい。
佐賀大学	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ①のがん治療専門医育成コースで、目標人数6名を計画している。JSMOの研修施設としての認定を受けており、がん薬物療法専門医の輩出に期待したい。 ・佐賀大学を中心とする地域ネットワークにおいて中心的役割を果たす人材育成を目指すとしている。

<p>長崎大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ①に関連し多面的にがん医療を教える博士課程のコースでは15名、遺伝看護・遺伝カウンセリングコース（修士課程）では10名、がん個別化医療専門医師・歯科医師養成コース（博士課程）では10名を受入目標に設定している点は期待できる。登録、がん医療の地域偏在の解決を目指す長崎大学と琉球大学の連携によってもたらされる知見は、離島・僻地問題を抱える他の医療圏でも活用できることから大いに期待したい。 ・自己評価に「d.目標を達成できていない」と記載されていることから準備段階から実践段階へのスムーズな移行に期待したい。
<p>熊本大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3学会から研修施設として認定された当大学において、臨床・研究のバランスのとれたがん専門医療人を養成するための研修医・大学院一体型がん専門博士養成コースを開設し24名を受入目標に設定している点は期待できる。また、がん専門薬剤師コース（インテンシブコース）では8名を目標としており、コース修了者がアウトカムとなるがん指導薬剤師、がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師などの認定を取得することに期待したい。
<p>大分大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・包括的がん治療専門医療人養成コース（博士課程）では30名、同じくがん患者の高度な実践・ケアを担う看護職（修士課程）養成コースでは5名を目標としている。 ・多職種を対象とした「がん予防とがんサバイバーに対応する医療人養成コース」では、目標を60名に設定している点は期待できる。
<p>宮崎大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ①の「包括的がん専門医療人養成コース」では12名、「がん看護専門看護師養成コース」では受入目標6名、「放射線治療専門医育成コース（インテンシブ）」では8名に目標を設定していることから地域のがん医療の充実に期待したい。
<p>鹿児島大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ①の「先端がん診断・治療コース（正規課程）」を通して11名を受入目標としており、医師・看護師・薬剤師を対象とする「遺伝性腫瘍のカウンセリングとサーベイランス技術者養成コース（インテンシブ）」では24名を目標としている点に期待したい。また、「がん専門薬剤師養成コース（インテンシブ）」では、60名を目標としている。今後、「がん薬物療法認定薬剤師」、「がん専門薬剤師」・「がん指導薬剤師」、「外来がん治療認定薬剤師」、「緩和薬物療法認定薬剤師」の資格を取得し医療に貢献できる薬剤師の輩出に期待したい。
<p>琉球大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ①に関しては、痛みの治療・ケア、がん学際領域等を担う「薬物療法専門医コース」を通して、受入目標5名の計画でがん薬物専門医の養成を進める計画。また、痛みの治療・ケア、がん関連学際領域等を担う「地域実践型がん看護専門看護師コース」では、5名の受入目標を掲げている。長崎大学と同様に離島が多数ある地域を所轄する琉球大学では長崎大学と連携し、離島におけるがん医療人材の育成を行いがん医療の偏在の解消を目指そうとしている点は評価できる。

「次世代の九州がんプロ養成プラン」外部評価委員用 評価シート

送付した評価用資料および九州がんプロホームページ（<http://www.k-ganpro.com/>）等をご覧になった上で、以下の評価シートにご記入ください。このシートの内容は、評価委員の氏名を明らかにした形で、評価用資料とともにホームページ等にて公表する予定であることを予めご了承ください。

外部評価委員 氏名	田村 研治
-----------	-------

1. 今年度における九州がんプロの取り組み評価

下記3つの欄に、a（優れている）～e（劣っている）の選択肢を記入いただき、つづけて「コメント欄」に評価の具体的な内容をご記入ください。

[選択肢] a:優れている / b:やや優れている / c:普通 / d:やや劣っている e:劣っている	
総合評価	a
テーマ1：がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材養成	a
テーマ2：がん予防の推進を行う人材養成	b
テーマ3：新たな治療法を開発できる人材の養成	b

コメント欄（上記評価の理由、評価できる点、今後に向けて改善すべき点など）
<p>九州大学を中心にグループとして非常によく統括されている。各大学の特性を生かして、全体として、テーマ1、2、3を十分に意識して取り組んでいる。e-learningなどのコンテンツの活用にも積極的である。第4期がんプロの課題である、地域における緩和ケア、放射線治療、病理に関する人材育成にも力をいれている。又、第4期がんプロ課題に取り入れられた、腫瘍循環器学や老年医学など、新しい学際的領域に関しても、積極的にプログラムを改訂し取り組む姿勢がみられる。</p> <p>全体として、テーマ1への取り組みは、非常に優れていると感じるが、テーマ2に関しては、コース数からも、若干取り組みが少ない印象もある。</p> <p>テーマ3の新たな治療法を開発できる人材の育成については、基礎研究、早期開発、治験や臨床研究ができる施設も限られているため、例えば、グループ全体として、九州大学とそれ以外の大学間、あるいは、県内外のがんセンターとの学生交流などを考えてもよいかもしれない。</p> <p>又、九州地区全体としては、離島や僻地のがん医療を含む。グループ内でのがんプロ教育の標準化も必要であるが、将来的にはがんプロの出口として、育成された専門家の均等配置（＝偏在化の問題）については今後の課題である。</p>

2. 各大学の取り組みに対する評価

今後の改善の参考とするため、各大学へ個別にコメントをご記入ください。

コメント欄（評価できる点、今後に向けて改善すべき点など）	
九州大学	<p>大学院正規コースを中心に、多くのコースを運用している。これまでの1期～3期の専門家育成の実績についても大変評価できる。九州がんプロ全体を主幹として統括している。大学院正規コースに、放射線治療学コースや、次世代病理学コースなどがあり、新しいテーマ、課題に対応している。腫瘍循環器学や老年医学など、新しい学際的領域に関しても、新たにプログラムを改訂し取り組む姿勢がみられる。</p> <p>看護師や薬剤師、MSW、遺伝子カウンセラーを対象とした医療スタッフに対する、インテンシブコースの充実については、今後の課題と考える。</p>
福岡大学	<p>大学内でのがん教育に関して取り組みは評価できる。又、AYA世代のがん治療や、がんサバイバーにも焦点をおいている。今後、大学院正規コースや、インテンシブコースなど、履修単位/修了条件を整えた状況での、大学内外の教育システムの確立が課題となる。</p>
久留米大学	<p>放射線治療専門医コースを開設し、1名の履修者がいることは評価できる。がん看護分野コースにおいて、看護学科の教育、人材育成が評価できる。看護学科における臨床研究、CNS養成コース、緩和医療などにも力をいれている。九州がんプロにおける、看護師の専門家育成において役割を果たしている。</p>
産業医科大学	<p>第4期から新規参加している。がん治療と就労の養成コースに力をいれている。がんゲノム医療コースは、臨床遺伝専門医や、遺伝性腫瘍専門医の育成に期待する。</p>
佐賀大学	<p>テーマ3；新たな治療を開発できる人材の育成に力をいれている。抗悪性腫瘍薬の開発などにおいて、がんプロの学生が、基礎研究や臨床研究のプロジェクトに参加できる環境がある。</p>
長崎大学	<p>離島や僻地のがん医療に対する課題・教育に取り組んでいる。核医学の講座と連携している。新しい学際的領域の1つである、腫瘍循環器外来における臨床自習を取り入れている。</p>
熊本大学	<p>大学院正規コースだけでなく、がん専門看護師、がん専門/認定薬剤師を対象としたインテンシブコースが充実している。</p>
大分大学	<p>新しい学際的領域の1つである、腫瘍循環器病学の教育も視野にいれている。</p>
宮崎大学	<p>がん専門看護師を育成するコースが評価できる。又、インテンシブコースについても充実している。</p>
鹿児島大学	<p>ゲノム医療において、エキスパートパネルなどを用いた、実践教育を取り入れている。又、テーマ2の課題である、がん予防に関する教育にも取り組む姿勢がある。がん専門薬剤師を対象としたインテンシブコースに取り組んでいる。</p>
琉球大学	<p>がん領域における、都心と地域の格差の問題に早くから取り組んでおり、地方、地域に差した専門家の育成と、配置に貢献する可能性がある。又、がんの緩和ケアの教育に実がある。地域における、がん薬物療法専門医の育成にも焦点をあてている。</p>

「次世代の九州がんプロ養成プラン」外部評価委員用 評価シート

送付した評価用資料および九州がんプロホームページ（<http://www.k-ganpro.com/>）等をご覧になった上で、以下の評価シートにご記入ください。このシートの内容は、評価委員の氏名を明らかにした形で、評価用資料とともにホームページ等にて公表する予定であることを予めご了承ください。

外部評価委員 氏名	眞嶋 朋子
-----------	-------

1. 今年度における九州がんプロの取り組み評価

下記3つの欄に、a（優れている）～e（劣っている）の選択肢を記入いただき、つづけて「コメント欄」に評価の具体的な内容をご記入ください。

[選択肢] a:優れている / b:やや優れている / c:普通 / d:やや劣っている e:劣っている	
総合評価	b
テーマ1：がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材養成	b
テーマ2：がん予防の推進を行う人材養成	b
テーマ3：新たな治療法を開発できる人材の養成	b

コメント欄（上記評価の理由、評価できる点、今後に向けて改善すべき点など）
<p>初年度に新しいがんプロ目標をもとにがんプロ正規性を受け入れるための準備およびインテンシブコースを開設して積極的にがんプロを推進していることが報告されている。これまでの実績から継続してその成果が表れている。初年度であるため、テーマ1、2、3の具体的な目標に対する成果とのつながりが見えるように記載されている努力がうかがえた。</p> <p>テーマ1については 最も多くの大学で実施するテーマであり、積極的な展開が期待され準備状況についても順調に進められている。</p> <p>テーマ2については、今年度遺伝カウンセリングについての人材養成のため、講演会を行ったりというような積極的な取り組みがすでに実施されていることについて評価できると考える。</p> <p>テーマ3については、各大学に養成コースや、インテンシブコースを設置するなど、今後のがんプロの目標に向けて順調に土台が作られていることを確認することができた。</p> <p>3つのテーマに対する全体の目標設定については非常に優れてものが含まれている。</p> <p>「各大学の共通学習項目として、腫瘍循環器学、腫瘍腎臓病学、老年腫瘍学等の学際領域を取り入れ、九州全体での課題解決を目指す人材育成を推進」については、具体的な内容が各大学の取り組みの中に記載されているが、全体として、年度の実績として、教材作成が進められていることを記載いただくと、目標とのつながりが明確になり、今後、高い評価につながるのではないかと考える。</p>

2. 各大学の取り組みに対する評価

今後の改善の参考とするため、各大学へ個別にコメントをご記入ください。

コメント欄（評価できる点、今後に向けて改善すべき点など）	
九州大学	<p>事業の初年度であり、次年度以降の教育コースの準備のために各大学への情報提供や話し合いの機会を設け、がんプロ全体を積極的に牽引されていることがうかがえる。地域差、大学差を埋めるための努力としてハイブリット形式での会議を進めるなど、これまでの運営を生かして積極的に話し合いの場を作り、各大学との連携を強化しており、本がんプロの牽引力となっている。インテンシブコース6コースの受け入れ目標を達成でき、新しい体制構築が順調であることが特に評価される。</p> <p>これまでのがんプロの成果や、今期のがんプロで特に養成したい人材の養成状況などを記載いただけると、九州大学のプランの特徴がより明確になるのではないかと考える。</p>
福岡大学	<p>第4期のがんプロに向けて計画を進められている。</p> <p>特にインテンシブコースを中心に実施ができています。</p> <p>テーマ1の顕在化した課題に対する人材養成の目標の焦点と達成可能な内容を検討していただけると今後の計画がみえやすくなるように考えます。</p>
久留米大学	<p>テーマごとに実績を示し目標達成に向けた取り組みが具体的になっている。</p> <p>大学内における連携ができており、コーディネーターの先生の調整が大学全体の運営に効果的に機能していると評価できる。また、がん看護専門看護師の教育も3名の在籍者がおり、評価も高いことから、輩出される人材の今後の貢献が期待できる。がんプロ全体の目標として苦痛緩和の教育が挙げられており、がん看護専門看護師の教育の中にこの内容が記載され、目標とのつながりが明瞭である。今後、薬剤師や多職種との連携についても学習を強化するなど検討いただけるとよいのではないかと考える。</p>
産業医科大学	<p>テーマ1, 2の目標に対して今後の基盤を作るために学内への周知をされている。特に両立支援については大学の特徴からも専門的な内容が提示されることが期待される。</p>
佐賀大学	<p>前回のがんプロの内容を踏まえ、着実に目標を継続して推進され、小児がんや希少がんの診療連携について推進されている。県全体の診療連携についての取り組みも継続的に行われていることもうかがえる。病院薬剤師と薬局薬剤師の薬薬連携について詳しく取り組みを紹介しており、今後、他の大学における取組の参考になる先進的な検討が行われていると評価できる。</p>
長崎大学	<p>ゲノム医療や、へき地医療実習など特徴的な教育プログラムが継続的に行われており、成果が蓄積されている。</p> <p>外科医の在宅・地域医療実習などが行われており、がん医療の連続性、継続性の学習支援の取り組みは高く評価できる内容である。</p> <p>テーマ1の課題の具体的な取り組み方法を、さらに今後示していただけるとわかりやすくなるかと考える。</p>
熊本大学	<p>「研修医・大学院一体型がん専門博士養成コース」は、これまでの在籍者の支援ができており、先進事例の収集はこれまで同様高く評価される内容である。また専門医等の資格の取得とのつながりもわかりやすく記載されている。これまでのがんプロの成果を生かしがんプロ人材養成に寄与されている。</p>
大分大学	<p>テーマ1, 2の目標について具体的に取組まれている。特にテーマ2の予防推進を行う人材育成について、他の大学に先んじて公開セミナーを行う等、広報活動が特徴的である。</p> <p>またがん看護専門看護師の医療機関内への受け入れを視野に検討されており、成果につながることを期待する。</p>
宮崎大学	<p>テーマ1に対して幅広い取り組みが行われている。インテンシブコースにおける多職種連携教育や、放射線治療コース、がん看護専門看護師コースが設定されている。またがん看護専門看護師の教育の中でがんゲノム、希少がん、小児のテーマも取り扱われており、定期的な講演会を通じて学生のリクルートが行われている。リクルートのご苦労がうかがわれるが、講演会を通じて、専門的な知識の幅広い普及に尽力されていることについて評価できる。</p>

<p>鹿児島大学</p>	<p>大学院コースのカリキュラムにおいて、具体的な内容が提示されており、第4期のがんプロの目標に沿ったテーマとなっており、今後の計画のための土台作りをされている。両立支援の講演会なども行われていることから、テーマ2についても取り組んでおられたことが分かったが、テーマごとの成果としてお示しいただくとさらに実施された内容がわかりやすくなるのではないかと思います。</p>
<p>琉球大学</p>	<p>第3期のがんプロの目標を引き続き発展させ、がん看護専門看護師コース、がん薬物療法専門医コースを構築されている。また、沖縄県立看護大学との連携や他大学の講師による講演などを積極的に取り入れ教育プログラムの質および量の発展につながっている。今後はテーマ2の予防の目標に向けた内容についても展開していただくことを期待する。</p>

「次世代の九州がんプロ養成プラン」外部評価委員用 評価シート

送付した評価用資料および九州がんプロホームページ（<http://www.k-ganpro.com/>）等をご覧になった上で、以下の評価シートにご記入ください。このシートの内容は、評価委員の氏名を明らかにした形で、評価用資料とともにホームページ等にて公表する予定であることを予めご了承ください。

外部評価委員 氏名	石澤 啓介
-----------	-------

1. 今年度における九州がんプロの取り組み評価

下記3つの欄に、a（優れている）～e（劣っている）の選択肢を記入いただき、つづけて「コメント欄」に評価の具体的な内容をご記入ください。

[選択肢] a:優れている / b:やや優れている / c:普通 / d:やや劣っている e:劣っている	
総合評価	c
テーマ1：がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材養成	c
テーマ2：がん予防の推進を行う人材養成	c
テーマ3：新たな治療法を開発できる人材の養成	c

コメント欄（上記評価の理由、評価できる点、今後に向けて改善すべき点など）
<p>次世代の九州がんプロ養成プランでは、九州・沖縄の11医療系大学大学院が連携して、第4期がん対策推進基本計画で求められる人材の育成強化に取り組んでいる。本事業では、がん医療の現場で顕在化する課題解決、がん予防の推進、新たな治療法の開発を目的とする3つのテーマが掲げられており、九州・沖縄全域のがん医療における課題解決に向けたプログラムが設置されている。各大学の規模や特徴に基づいた全36コースが新たに設置され、それぞれの地域におけるがん医療ニーズも考慮した人材育成が期待される。</p> <p>広大な事業エリアにおける運営の意思統一や円滑な運営を目的として、各大学コーディネーター教員等で構成される「事業運営推進協議会」が組織されていることは評価できる。また、九州がんプロ全体研修会や市民公開講座の実施、また韓国アサン医療センターとの合同シンポジウムも準備されている。さらに専門医資格取得サポートも実施されており、4名のがん薬物療法専門医の育成に取り組まれていることは評価できる。</p> <p>令和5年度は各大学ともに教育プログラム、各種研修モデルの準備期間ということであるが、今後、各大学のがんプロコース履修者の確保について、本事業の周知方法も含めて努めて頂きたい。また、将来的に本事業により養成されたがん専門医療人が、大都市に集中することなく、離島・僻地も含めたエリア全域に適切に配置されるような方策を検討されることが望ましい。また、一般市民を対象としたセミナーや市民公開講座などを、様々な媒体を通じて広報して開催することで、最新のがん治療を社会に広く情報発信していくことも期待される。新規治療法開発を推進する人材養成においては、拠点内大学間にとどまることなく、拠点間や国外の医療・研究教育機関と共同で取り組むことで、がん医療の未来に貢献する医療人の育成に寄与することが望まれる。</p>

2. 各大学の取り組みに対する評価

今後の改善の参考とするため、各大学へ個別にコメントをご記入ください。

コメント欄（評価できる点、今後に向けて改善すべき点など）	
九州大学	本事業ならびにエリア拠点として次世代の九州がんプロ養成プランの活動の取り纏めを担当している。新たに個別化医療を推進する臨床腫瘍学コースなど7つのコースの開講にむけて準備を進めている。今後は本事業の目的や取り組みを発信し、新コース履修者の増員を目指すとともに、地域や社会に対しても情報発信されることを期待する。
福岡大学	がん患者が抱える身体的、精神的な問題点に着目し、がんサバイバーの苦痛に対応できるがん専門医療人養成コースが設置されている。本事業の目的を広く周知して、がんプロ正規課程コース履修者の獲得に努めて頂きたい。
久留米大学	「放射線療法専門医養成コース」「がん看護分野CNS養成コース」が設置され、がん医療の現場で顕在化している課題に対する人材養成が行われている。特に、がん看護分野CNS養成コース修了者のキャリアを明確に提示することで、さらなるリクルートに繋がることが期待される。
産業医科大学	前回のがんプロはオブザーバーでの参加であったが、本事業は正式に参画されている。「がん治療と就労の両立支援医師養成コース」「がんゲノム医療重点コース」が新たに設置されたことを広報して、今後の履修者の獲得に努めて頂きたい。
佐賀大学	高度化するがん医療に対応するがん治療専門医育成コースが設置されている。本事業を周知して、がんプロコース履修者のさらなる獲得に努めて頂きたい。また、新規薬剤開発に関わる産学連携を通じて新たな治療法を開発できる人材の養成に取り組まれており、今後の発展を期待したい。
長崎大学	今年度は第4期がんプロの準備期間として活動している。テーマ1において、在宅医療実習または離島・僻地実習、多面的がん治療学実習のような特色のある履修科目が設定されている。また、以前から、遺伝子パネル検査症例のエキスパートパネルに大学院生が参加も継続されており、今後の人材養成にも期待される。
熊本大学	「研修医・大学院一体型がん専門博士養成コース」が設置されており、初期臨床研修医が早期から研究に取り組むことが可能となっている。またがん専門薬剤師に関するインテンシブコースは活発に活動されており、今後、がん専門薬剤師の養成を含む多職種の人材養成にも期待したい。
大分大学	「包括的がん治療専門医療人養成コース」「地域医療の様々なニーズに対応する医療人養成コース」が設置されている。本事業の目的を広く周知して、がんプロ正規課程コース履修者の獲得に努めて頂きたい。
宮崎大学	「包括的がん専門医療人養成コース」「がん看護専門看護師養成コース」に加えて2つのインテンシブコースが設置され、がん専門医療人養成に努めている。今後はがん看護専門看護師養成コースを選択する人材の確保と増加に向けた具体的な取り組みを期待したい。
鹿児島大学	「先端がん診断・治療コース」が正規課程として設置されており、Cancer Boardやエキスパートパネルを活用した教育プログラムが計画されている。本事業の目的を広く周知して、がんプロコース履修者の獲得に努めて頂きたい。
琉球大学	緩和ケアエキスパートナース養成コース（インテンシブ）が活発に取り組まれている。今後は、がん薬物療法専門医コースにおける特色ある取り組み等を幅広く広報して、大学院生の人材確保にも努めて頂きたい。